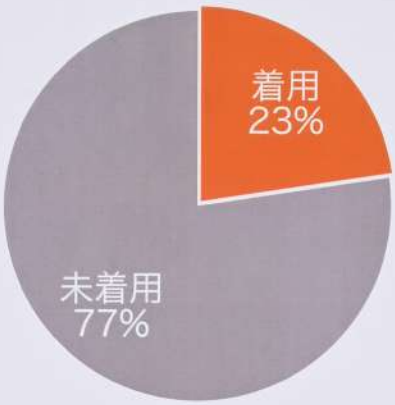
街のヘルメット大調査【熊本市】

～あなたは油断してない？～



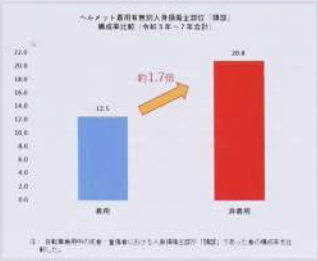
【調査結果】

全体のヘルメット着用

わずか23%（39人）

（未着用77%／133人）

警視庁の「自転車乗車用ヘルメット着用率調査結果（R7.6調査）」では、熊本県の着用率は22.6%。今回の調査でもほとんど同じ結果になりました。



【出典】警視庁HP「自転車は車のなかま～自転車はルールを守って安全運転～」（https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/bicycle/info.html）

✔ 未着用は死亡・重症率が約1.7倍

- あご紐のゆるみ（5人）
- スマホ操作（4人）

といった危険な状態も見られた

～調査について～

日付：令和8年8月18日（火）　調査人数：172名

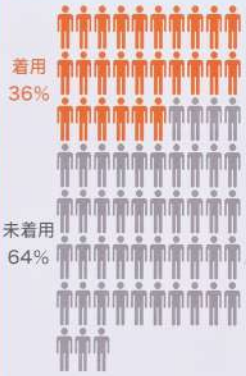
場所と時間：① 駅前（熊本市中央区 新水前寺駅前）12:40~13:10　② スーパー前（熊本市中央区）13:30~14:00　③ 公園前（熊本市東区 山ノ内中央公園）16:40~17:10

【出典】

警視庁HP「頭部の保護が重要です～自転車用ヘルメットと頭部保護帽～」（https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/toubuhogo.html）

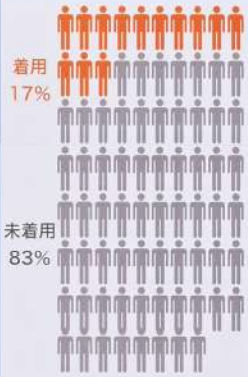
世代ごとの着用率

子ども・学生（調査73人）



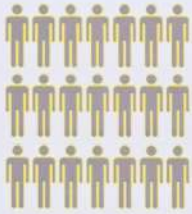
- 小学生はほとんど着用していた
- 高校生は着用していない人が多かった

大人（調査78人）



- 大人は着用している人は少なかった
- 自衛隊の人はみんな全員着用していた

高齢者（調査21人）



着用0%/未着用100%

- 高齢者は着用している人がいなかった
- ヘルメットではなく帽子をかぶっている人が多かった

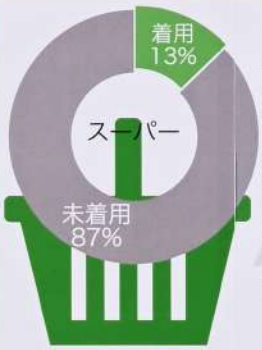
場所によっての着用率

駅前（調査64人）



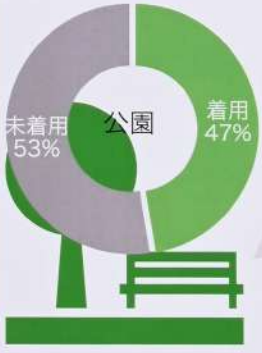
- 高校生以上のいろんな世代の人が通行していた
- 着用者でも、あご紐がゆるんでいる人見られた

スーパー（調査70人）



- 大人や高齢者が多く、着用者が少なかった
- 買い物で気軽に来ているからか、着用している人が少なかった

公園（調査38人）



- 小学生が多く、ほとんど着用していた
- 通勤で通る大人も着用している人が多かった

まとめ

- 学校でヘルメットを着用するように教えられているけれど、年齢が高くなるにつれて着用率が低いことがわかった
- 高齢者の着用率が低いことや、スーパーに買い物に行くときに油断があることがわかった
- **高齢者やスーパーの利用者に向けて、ヘルメット着用の呼びかけ**を行うと良いと思った

